女川原子力発電所第	2号機 工事計画審査資料
資料番号	02-補-E-19-0600-40-2_改 6
提出年月日	2021年11月10日

補足-600-40-2 設計基準対象施設の耐震重要度分類表について 設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点

目次

1.	概要	1
2.	設置変更許可からの変更点	1
3.	建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点	4

1. 概要

本資料は、添付書類「VI-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針」のうち、「表 2-1 設計基準対象施設の耐震重要度分類表」について、設置変更許可段階からの変更点を整理するとともに、建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点について整理したものである。

2. 設置変更許可からの変更点

女川原子力発電所発電用原子炉設置変更許可申請書(2号発電用原子炉施設の変更)本文及び添付書類の一部補正について(令和2年2月26日許可)からの変更点及び変更理由について、表1のとおり整理した(変更箇所の詳細は添付資料1参照)。

表1 設置変更許可審査からの変更点 (1/2)

	変更前 (令和2年2月26日設置変更許可時)	変更後 (今回工認)	変更理由	対応ページ
1)	原子炉遮蔽壁	原子炉しゃへい壁	工事計画認可申請名称への変更	7, 9
2	1 号炉	第1号機	同上	7, 8, 9
3	制御棒貯蔵ハンガ	_	設計進捗に伴う変更 (再起動前までに撤去する方針としたため削除)	7
4	軽油タンク基礎	軽油タンク室	工事計画認可申請名称への変更	7, 8, 9
(5)	前面護岸	_	設計進捗に伴う変更 (設置変更許可時は、補助設備としての冷却系に対す る波及的影響を考慮すべき施設としていたが、工認段 階においては、取水口及び貯留堰に対する波及的影響 を考慮すべき施設として整理するため削除)	8, 9
6	原子炉遮蔽プラグ	原子炉ウェルカバー	工事計画認可申請名称への変更	8
7	3 号炉	第3号機	同上	9
8-1	防潮堤	防潮堤 (鋼管式鉛直壁)	同上	9
8-2	防潮堤	防潮堤(盛土堤防)	同上	9
9		出口側集水ピット (屋外排水路逆 流防止設備 (防潮堤南側))	設計進捗に伴う変更 (耐津波設計等の構造確定に伴う追加)	9
10	_	出口側集水ピット (屋外排水路逆 流防止設備 (防潮堤北側))	同上	9
(1)	2 号炉	第2号機	工事計画認可申請名称への変更	9
12	_	防潮壁(第3号機放水立坑)	設計進捗に伴う変更 (耐津波設計等の構造確定に伴う追加)	9
13	揚水井戸	揚水井戸(第 3 号機海水ポンプ室 防潮壁区画内)	工事計画認可申請名称への変更	9

表1 設置変更許可審査からの変更点 (2/2)

	.	表1 設置変更許可審査からの変更	从(2/2)	
	変更前(令和2年2月26日設置変更許可時)	変更後 (今回工認)	変更理由	対応ページ
14)	3 号炉海水ポンプ室門型クレーン		設計進捗に伴う変更 (再起動前までに撤去する方針としたため削除)	9
15	アクセスルート	アクセスルート(防潮堤(盛土堤防))	工事計画認可申請名称への変更	9
16	3号炉取水路	_	設計進捗に伴う変更 (設置変更許可時は,防潮堤に対する波及的影響を 考慮すべき施設としていたが,工認段階において は,防潮堤(鋼管式鉛直壁)に対する波及的影響を 考慮すべき施設として整理するため削除)	9
17)	_	前面護岸	設計進捗に伴う変更 (今回工事計画認可段階で波及的影響を考慮すべき施設が明確になったことに伴う追加)	9
18	_	第1号機取水路	同上	9
19	建物・構築物	建物・構築物、土木構造物	記載の適正化(土木構造物について明確化)	11
20	下位の耐震クラスに属するものの破損 等によって上位の分類に属するものに 波及的影響を及ぼすおそれのある施設		記載の適正化	11
21)	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷 却海水系を含む)	記載の適正化(高圧炉心スプレイ補機冷却水系も同様に変更)	7, 8
22	_	防護設備(防潮堤(鋼管式鉛直壁))	設計進捗に伴う変更 (対津波設計等の構造確定に伴う追加)	7, 8, 9
23	_	屋外排水路(敷地側集水ピット(北側),北側排水路(防潮堤横断部), 出口側集水ピット(北側),敷地側 集水ピット(南側),南側排水路(防 潮堤横断部)及び出口側集水ピット (南側)	設計進捗に伴う変更 (地下水位低下設備の排水経路として追加)	10

3. 建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点

建設時工事計画認可からの耐震重要度分類が変更となった設備は、大別して以下の4ケースのものがある。

- ① 耐津波に関する設備の新規追加(Sクラス)
- ② 地下水位低下設備の新規追加 (Cクラス)
- ③ 屋外排水路の新規追加(Cクラス)
- ④ 非常用ディーゼル発電機等の燃料を貯蔵する設備の格上げ(C→S クラス)
- ⑤ 発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針の改訂に伴う変更 (A→S クラス)

それぞれの対象設備を表 2-1 示す。また、耐震重要度分類の変更ではないが、検討用地 震動が変更になった設備を表 2-2 に示す。

なお、発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針の改訂に伴い、建設時工認において As クラス又は A クラスとしていた設備は、今回工認においては S クラスに整理される。耐震重要度分類が A クラスだった設備は、建設時工認においては基準地震動 S_1 による評価を実施していたが、今回工認においては、S クラスに分類されることから基準地震動 S_1 S 及び弾性設計用地震動 S_2 d による評価を実施する。

表 2-1 建設時工事計画認可から耐震重要度分類が変更となった設備(1/2)

衣 2-1 建放时上		T
	設備名称	備考
	・防潮堤(鋼管式鉛直壁)	
	・防潮堤(盛土堤防)	
	・防潮壁(第2号機海水ポンプ室)	
	・防潮壁(第2号機放水立坑)	
	・防潮壁(第3号機海水ポンプ室)	
	防潮壁(第3号機放水立坑)	
	防潮壁(第3号機海水熱交換器建屋)	
① 耐津波に関する設	・取放水路流路縮小工(第1号機取水路)	
備の新規追加	取放水路流路縮小工(第1号機放水路)	
(S クラス)	• 貯留堰	
	• 逆流防止設備	
	・水密扉	
	・浸水防止蓋	
	・逆止弁付ファンネル	
	・貫通部止水処置	
	・津波監視カメラ	
	・取水ピット水位計	
	・ドレーン	
	・接続桝	
	・揚水井戸	
② 地下水位低下設備	・揚水ポンプ	
の新規追加	・水位計	
(C クラス*)	・制御盤	
	・電源盤	
	・関連配管・弁	
	・敷地側集水ピット(北側)	
	北側排水路(防潮堤横断部)	
③ 屋外排水路の新規	・出口側集水ピット(北側)	
追加 (C クラス*)	・敷地側集水ピット(南側)	
	• 南側排水路 (防潮堤横断部)	
	・出口側集水ピット(南側)	
	・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ	
	・非常用ディーゼル発電設備軽油タンク	
④ 非常用ディーゼル	・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	
発電機等の燃料を貯	燃料移送ポンプ	
蔵する設備の格上げ	・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	
(C→S クラス)	軽油タンク	
	・関連配管・弁	
		1

注記*:Cクラスではあるが、基準地震動Ssに対し機能維持することを確認する。

表 2-1 建設時工事計画認可から耐震重要度分類が変更となった設備 (2/2)

・低圧炉心スプレイ系ポンプ・低圧炉心スプレイ系ストレーナ	
・低圧炉心スプレイ系配管・弁 ・残留熱除去系配管・弁(低圧注水モード運転、格納容器スプレイ冷却モード運転及び燃料プール冷却運転に必要な設備) ・主蒸気系配管・弁 ・声圧窒素ガス供給系配管・弁 ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロワ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置 つ切性ガス濃度制御系配管・弁 ・可燃性ガス濃度制御系配管・弁 ・原常用ガス処理系空気乾燥装置 ・非常用ガス処理系非風機 ・非常用ガス処理系空気乾燥装置・非常用ガス処理系空気乾燥装置・非常用ガス処理系で空気乾燥装置・非常用ガス処理系でで、大阪で、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

表 2-2 検討用地震動が変更となった設備

	設備名称	備考
波及的影響を考慮すべ		耐震重要度分類の変更で
き施設に適用する地震	・原子炉建屋クレーン	はないが,検討用地震動
動の変更	・原丁が建産グレーン	が変更となった設備とし
$(S_1 (Sd) \rightarrow S_S)$		て抽出

設置変更許可時からの変更点

				글	2置変更許可			変更計り時点	7 500及又派				4回	工事計画認可			
				į.	又旦发史計刊								う凹	上尹可四於り			
i d	在5) 給計用	地震動 (注意)	8 8 8 8 8	(2)	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	N N N N N N N N	က တ တ			12	新春 香香 香香	Į.	0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	. w w w w	
波及的影響を		適用範囲	・原子を遮蔽整 ① ・中央制御室大井照明 ・タービン建屋 ・補助ボイラー程屋	1号が開創建設(2) 原子で開始シレニン 然料交換機 開闢解析廠、シガ 開闢解析廠でガ 開闢解析。第ラック 然料チャンネル着 脱機	ターピン像展 中央域権を採用 ・ 相助がイラー包屋 ・ 1号が開卵電展②	海木ボンブ治司 超々アーン 酒参防護 ネット 単山海 原子を別略アーン 中上編書を大洋領 原子の開発 原子の開発 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大の第 東大大の第 東大大の第 東大大大統領 東大大大大統領 東大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	補助ボイラー全屋 ・1号炉制御建屋②			放及可能等的	適用範囲	・原子のこなく。 ・中央制御電気井線順 ・タービン機履 ・種財ポイヤー機関 ・第1 具機響機関係 ②	・原子を発励をマーン・を表文を数 ・生活を対象数・生活を表現レック・ををイン・がをイングを表示している。	・中央海衛電気 大浦町 タードン 発展 ・着サボイラー 建図 ・第1 - 545 推照 国	・海大ボンノ塩甲型 クアーン・・南地が緩ネット・・原子でも過ぎが緩ネット・・原子で希腊グラーン・・中央開催が大洋原の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ターピン態展 ・利力がイラー態度 ・第1号機等を展し ・反射数値 (高速度 (両	
4	(注4) 給計用		S S S		S S S	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	o o				五叠	o o o	s s	00 00 00 00 00 00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
間接支持構造物			・原子炉本体の基 遊 ・原子炉建屋 ・開御建屋	- 原子炉建屋	・京子が建屋 ・原子炉本体の基 - 南御建屋	 ・原子が後屋 ・原本ボンブ室 ・原本ボンブ室 ・原本層が多かト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	101 PP AEABS			間接支持構造物等	適用範囲	・原子/学本体の <u>基施</u> ・原子/学生量 ・俳海祗皇	原子資產	- 原子が建築 - 原子が本体の基務 - 修御建立	・原子が連備・海水がノ畑 ・海水がノ畑 ・原子が機器が独積を配着 ダット ・魔苗ダンク艦(4) ・魔苗ダンク艦(4)	制御健 量	
		両 原クラス	w w	w	w	ω					調べた	ω ω	· ·	ω.	ω	•	
直接支持構造物		適用範囲	・原子炉圧力容器支 持スカート ・機器・配管、電 気計装設備等の	大学権宣物・機器の支持構造・物	· 恭昭 · 唐瑜 · 唐 水叶 紫映 信翰 · 加 大芍精造物	・機器・配管・間 気計装設備等の 対等構造物				直接支持構造物**		・原子(可三力容器文 持スカート ・機器・配管、電気 計装設備等の支 料構造物	・機器の支持構造 物	・機器・配流・ 自気 甲状数化等の支 特殊性的	·核器·配管, 篇文 計技設储等の文 持精造物		
(o t		両 猿 クラス	S	ì	α α α	ω ω ω	w				再クラン	ω	I	o o o	w	o o	ω.
補助設備		適用範囲	・隔離弁を閉とするために必要な 電気計装設備	ı	・ が心支持構造物・ 電気計模設備・ チャンネルボックス	・当該施設の冷却 多、(匠子炉植機合 地域) (では、 を含む) ・当該施設の機能 維持に必要な空 調設備			補助提好備率	適用範囲	・阿羅仲を別とするためた必要な電気計 発表を 発表を	1	・部で対対事権記録・・語気が正確改権・・・語気が正確改権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・当該施設の治却系(原子や推議治力大系(原子の推議治力大系(原子の推議治別(海大水名))。 商工 (西ノメブレイ推議名) 出来系(地工市)、本土・本、地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東大学(地工市)、大田・東	プレイ無難後近確火 係を行う)② ・近い女共戦闘を ・非常用闘馬及の社 設備(ディーガン第	和後のようによる 本・利力が高いなった。 ・出版画訳とを記述。 に必要な空間監定権
3		計 歳ップラス	s s	s s	o	o o	S				理タランス	s s	o o	ø	0 0 0 0		
主要設備		適用範囲	・原子が圧力容器 ・原子が冷却材圧力 パウンダリに属す る容器・配管・ボ		・制御棒、制御棒撃 動機権及び制御棒 駆動水圧系 (スク ラム機能に関する 部分)	・原子戸隔離時沿 却系 ・高圧戸心スプレ イ系 ・残留兼除去系(停 に時冷却モード 正時冷却モード 正確に必要な設	語 ・ 治却な態としての サプレッションチ ェンバ			主國沿備*1	適用範囲	原子が圧力容器 原子を治理を圧力、ウンダリア属する容器 開催・ポンプ・弁		・能御機・指揮器関数 権及り推御機関的 田塚 (メクサム機能に 関于を指治)	・原子な産業等を対象・商田がスメアノス総・商田がスメアノス総の監察社成、6年日の名は出土・下部高い対解が表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	アンドルトロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロ	
	機能別分類		(i) 「原子炉や却 材圧カバウンダ リ」を構成する 機器・配管系		(Ⅲ)原子布の総合存止のために後 液に負の反応度 液に負の反応度 を付加するため の施設及び原子 がの存に状態や 維持するための	(iv)原子哲學止後、好心から崩壊熱を除去する ための施設 ための施設							(三)使用済然料を貯蔵 するための施設	(油)原子のの験値停止 のために他験に進り 反応機を付加するた めの衝散及が原子を の停止状態を維持す なために観致	(b)原子庁単士後、 垣ひから 直接繋を除去するための指数		
	耐震重要度	分類	Sグラス								公 類 類	S 75 %	l	I	1		

											設	置	変	更	[]	干可	•														
(注5)	検討用 地震動 (注6)	Ss	S	S	n o	s s	S	S				S	i	S	S	s s	Ss	Ss		S	S	o o	ט מ	ט מ	0 00	2					
波及的影響を 考慮すべき施設 (?	適用範囲	・海水ポンプ室門型クレーン	・竜巻防護ネット	・前面護岸 ⑤	・中中年編集大士展開	・メービン建屋	・権助ボイラー建産	· 1 号炉制御建屋②				・原子炉ウェル塩	厳ブラグ (6)	・中央制御室天井昭明	・メードン傾屈	・ 相助ホイフー運通・ 日号が制御建設(2)	· 1号炉排気第②	・海水ポンプ室門	型クレーン	・直巻 万護ネット	・町面護岸 ⑤	・原子が過程クラー・	・メープン母師	世世ノーと世世・発士・	・ 号位制御碑屋(2)	i) Haraini ka					
(注4)	検討用 地震動 (注6)	SSS	S		n 0		Ss					S	Ss				Ss	Ss	Ss			S	O			0 00					
間接支持構造物	適用範囲	・原子戸建屋・海木ポンプ室	·原子炉機器冷却	海水配管ダクト	・軽声シンを競争・軽力を	ダクト	·制御建屋					· 原子戶建屋	・制御車屋				·原子戶建屋	・海木ポンプ室	·原子炉機器冷却		・軽油パンク基機(4)	・配面タンツ母格がカル	・ 帯に徳田級ガル	・弁太同母指ラント	· 排气管基礎	・制御事屋	4				
(注3)	重 次 ラフス	S										'n					S														
直接支持構造物	適用範囲	・機器・配管,電気計装設備等の	支持構造物									・機器・配置・電	気計装設備等の	支持構造物			・機器・配管, 電	世代	支持構造物												
(注2)	重 クラス	S		S				S	V)		S					s			S				U)						
補助設備	適用範囲	- 当該施設の冷却 系(原子炉補機合	却系)②	非常用電源及び	三次収量(ノイーナル発音権及び	その治哲派・補	助施設を含む)	中央制御室の遮	数 ない いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に 	維持に必要な空	調設備	隔離弁を割とす	るために必要な	電気計装設備			当該施設の冷却	系(原子炉補機冷	却系)②	非常用電源及び	計装設備(ディーエ・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル	カケ 労 田 極 及 ひ マ タ か か か せ か せ か ま か ま	日本語 は 大・ 国 田本語 なんせい 国	以 表 体 野 の 勝 体	当該施政の政部維持に必要な空	語砂価	HIA NO CAN				
(注1)	耐 ララス	S						9	S			S	S				S				S	o	0	U	0	V.)			S	
主要設備	適用範囲	・非常用炉心冷却系1) 高圧炉心スプレ	/系	2) 低圧炉心スプリング	3) 麻姆赖哈士圣(华	田注水モード道	転こ必要な設備)	4)自動減圧系	・ 名学 大原 かして の キアフッション 中	H		·原子炉格翘谷精	· 原子炉格納容器	パウンダリに風	する配管・开		· 残留熟除去系(棉	納容器スプレイ	冷却モード運転	に必要な設備)	・可燃性ガス濃度 物質を	· 西之后每 5 厘 7	- 原工产年四所工	1. 计型用子之间组	来る75年気筒	・原子市格納容別	压力抑制装置(<	ントヘッダ、グ	ウンカマ郷)	・冷却水源としてのサル・	HIN
	機能別公類	(v)原子炉舎却材 圧カバウンダリ破	損事故後, 戶心か	ら崩壊熱を除去するよう	らしめら見収							(vi)原子炉台型材	圧力バウンダリ破	損事故の際に、圧	力障壁となり放射	在物質の放散を直接圧ぐための指導	(vii)放射性物質の	放出を伴うような	事故の際に、その	外部放散を抑制す	るための指数や上れています。	記(M)以外の掲段									
The de de la contraction of the second		Sクラス									,																				

				T
9	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	© S S S S S S S S S	
表文の表準を 考慮すべき施設 **	適用範囲	・ 様々ない了新門監 クレート・ ・ 他等が様々ット 中央時間を打印 中央時間を打印 サービン程置 ・ サービン程置 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 原子 がウェルカバー - 中央制御室天井飛げ ・ タービン建国 ・ 補助ポイラー建国 ・ 第1号機制領建国 ②	第1 日本樹木気間(2)
	松計	α α α α α α α α α α α α α α α α α α α	o o	
品接支持衛體約**		原子母後書 「原子母後報子子」 カラト アクト アクト 所加アン第 (6 18319 ンク連絡タクト ・原加の (18319 ンク連絡タクト	選問を受ける。 ほうかん という はい	「原子力を進展 「後々なシープを 第子が機能が発展する。 第一子を 第二子を 「衛生ランクを 「衛生ランクを 権力所能能力・ 事項所能を 事業が 事業が 事業が 事業が 事業が 事業が 事業が 事業が 事業が 事業が
*3	原をなった。	ο	ω	vs.
直接支持構造物**3	適用範囲	· 攝影 尼斯 电效子 计基础 电线 计数据 电线 计数据 化二烷 电线 计数据 电线 化二烷	・機器・記憶、電気 計製設備等の支 持衛温物	· 秦帝 · 阳游 · 阳郊
	順くため	ω ω ω ω	os.	o o o
相助設備*2	通用範囲	 当後能能力の冷却等 第一旦後期的の治力等 第一回一回 第一回 第二回 第二回	・開催が加えたのた るに必要な電気計 対数値	・当該施設の冷却系 (10-7年開業の記載を (10-7年開業を 第0-7年開業を (10-7年) (10-7年)
	信 クラス スラス	o o	o o	w www w
西部名標。	適用範囲	・無事用の、本社が の	・原子宣格維格器・原子宣格維格器・ウンダンに属する配置・弁	・整面機能は液(格維格 時間・大型・大型・ ・回動はより数の経過 ・回動性対大機関性 ・同様に対して ・同様に対して ・原子で組織的 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	機能的沙類	(v) 原子学体性対比力 ベランダン 砂砂湖準松 後、原心がら海線線を 検定するための施設	(4)原子が各域対圧力ペンクの設計事故 パケングリ破潰事故 の際に 圧力機能となる 別教社社教質の放牧 り放射性教質の放牧 を直接防ぐための施設	(山) 液体性が質の放出 中土した事故の 際に、その外間が依 む間するための循版 で上記(4) 以外の値 設
MAN STATE OF THE PARTY OF THE P	少量数	8 4 10 8		

今回工事計画認可

			変更許可					今回工事計画	可認可	
£5)	検討用地震動	0	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N		0		三条	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		
波及り影響、考慮すべき施設	適用範囲	- 藤木ボン7 第四型ケーン 2 型ケーン 2 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	海水ボンイ第門 南後防護ネット 高格防護ネット 高面職権(3) 3 PATB大権(3) 1. アセスルート(3) タービンを取っト(3) タービンを取っト(3)	原子が開送りた。 原子が開発で 原子が 原子が の テストンが テストンが デストンが デストンが デストンが デストンが 関クレーン で の 関クレーン の の の の の の の の の の の の の	**************************************	放び天場権の水場は、水路・人の計画で、米	適用範囲	- 株式など、本部1127 レーン - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・	・原子が高級ケーン・ ・原子が高級ケーン・ ・原子の一を入る。 ・原子の一を入る。 ・日の個を対し、系字ストタンク ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を形式・第一 ・日の個を ・第一にかる。 ・日の個を ・第一にかる。 ・第一にがる。
(注4)	検討用地震動			\(\omega				・ 一	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	東京 (東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東
間袭支持構造物	適用範囲	3. 号を確水熱交換器機配の 機器機配の 5. 可以 5. 可以	原子哲康優 防御器 ®-2 海水ネンプ室 原子療器予却 原子療器予力 廃油タント 軽加タンク連絡 ダクト	- 原子が生産 ・海水ボンブ室 ・原子を機器や却 海水配等を3ト ・ ・ 原油タンの ・ 展油タンの連絡 タクト ・ 同調準度 ・ 原 はタンの連絡 ・ 原 はタンの連絡 ・ 原 はタンの連絡		間接支持精造物**!		1998年 1998年 1988年 1988年 1988年 1989年 19	数 8-2 S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	
物 (注3)	声がアクソ		Ø	w w		間接支	適用範囲	後の 主義を対象 後の 主義を対象 後の 主義を対象 (新聞記) 日本	原子育種属 で養品。 は大大ノン個 原子だフング 原子に発掘させ ダクト 素面をアンケ層 素面をアンケ層 素面をアンケ層 素質をアンケ層 素質をアンケ層	・原子が連続 ・海大などン画 ・海大などン画 ・原子で無線大型は大点が ケタト ・原面がフィ画 ・原面がフィー ・原面を ・原面を ・原がを ・原がを ・原がを ・原がを ・原がを ・原がを ・原がを ・原が
直接支持構造物	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田)支持構	25倍、 26倍、 26倍、 26倍、 26倍、 26倍、 26倍、 26倍、 26	2倍・ 16番 4 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		82	原とうない。	ω	ω	w w
直接	適用範囲	・機器等の支持 造物 造物	· 機器, 配稿, 9 気量裝設備等の 支持構造物	· 機器・配管・自 次率接限 (職等の 支柱構造物 原中戶正力發器		直接支持精造物等		熱の支持	機能 記憶, 譜 気計装版債等 の支持権證約	・機器・音管・電 後計装形偶等 の交替機関の ・原子が圧力容器 ・原子が圧力容器
(注2)	耐寒クラス	1	Ø	ν	_	_	18 ×	· 一种 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	素 悠 矣	
補助設備	適用範囲	1	・非常用電源及び 門装設備 (ディー 一大・客電機及び その治却系・補 助施設を含む)	・非常用電源及び 計数機・グイー 計なる電機・グイー から発電機・発 やの名は乗る 地配設を合む)		神史技術**	画用御田	1	が開催的な場合 を設定してイーセ を受賞してイーセ の名間を対したの が対象、神智・観察 を合じ。	が発用機能なる。 製造権 パイーセン ・大変機能ないかの ・大変機能ないかの ・大変機能ないかの ・大変機能ないかの ・大変機能ないかの ・大変機能は、 ・大変性は、 ・大変性は ・大変性は ・ ・大変性は ・大変性は ・大変性は ・大変性は ・大変性は ・大変性は ・大変性は ・大変性は ・大変性は
(注1)	両後のファン		o o	w w			単クランス 減	w w w w w w w w w	w w	ω ω ω
主要設備	適用範囲	防衛機 防衛機 ・ 下 放 水 路 清路衛 ・ 小 工 ・ 財 的 報 ・ 小 工 ・ 財 の 報 ・ 本 条 原 ・ 表 成 の に ・ 浸 木 防 に ・ 浸 木 防 に ・ ボ ル イ フ フ ン ・ ネ ル ・ 関 通 部 に 木 处 度	・排波艦視カメラ・取水ビット水低計・取水ビット水低計	機料アール水補給 股価 (%度対策) 森 (燃料フール水 の補給に必要な改 備) にう酸水注入系 にう酸水注入系 所子切圧力容器内 部構造物 (注8)		上要沒備**		、	・資気開発セメッ・原本にットを向手・	・繋ぶノールな価値を指 (大型電影技法、後季 (大型電影技法、後季 は投票) ・はり 整大科人派。 ・はり 整大科人派。 ・ほう 整大科人派。 ・ほう 整大科人派。
	機能別分類	(山) 津波防護機能 を有する施設及び 資水防止機能を有 する設備	(k) 敷地における 沖波監視機能を有 する設備	(x) その他			整 犯公理	(4) 所設的課機能 存有了 (4) 不同 (5) 20 大场上	(K) 数元は元おける 非效解析機能を 有寸る値数	(x)その他
	門農里要度 分 類	S 7 7 X				町機工英	少 取 董	K N N N	•	1

			設置変	变更許可						今回工事計画認可		
(44)	検討用を検討します。	S S	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	2	核形型 地震影	Sc	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	II.
間接支持構造物	適月範囲	・原子/炉建屋 ・制御建屋	- 原子が建邑 - タービン雑屋 - 独知が建邑 - サイトバンク建屋	・原本子が種間 ・海大光大が網 ・ガー大大人組 ・東部部でい発展 ・北京都設に完る 本リング・一、 本部が数	・原子炉建屋 ・制御建屋 ・当該施設に係る屋 ・当該施設に係る屋 外コンクリート 構造物	日後大學術學的	遂用範囲	· 原子/50魯屋 · 制御趣屋	・原土が創品 ・ダーアン創品 ・養芸が創品 ・サイトシンが復居	・原子な意味 ・海子よりが ・カードン・急性 ・岩澤観度 ・出域都設に深る観み ・エングリート海道物	・原子/50急屋 ・制御電屋 ・当該施設/2条る屋外 コンカーート構造物	
》(注3)	原のクンス	O	O	O	C (注11)	×	型 グラス	v	O	O	C*11	0
直接支持構造物	國用範囲	・機器・配管, 電気 計装設備等の支持 構造物	・機器・配管等の支 持構造物	・豫部・配管・	・機器・配管・ 電気 計装設備等の支持 構造物	自該之事情認	適用範囲	・機器・配筒・電気計 装設備等の支持構 造物	・機器・配管等の支持構造物	・義語・記念・記念・記念・記念を描える。	・機器・配管、電気計 装設備等の支持者 造物	0
(22年)	恵 か が が が が が	1	ı	1	C (EII)		重 クラス	I	I	I	C*11	1
補助設備	適用範囲	ı	1	I	· 電気計装設備	28 電光電子	適用範囲	1	I	1	・電気計法設備	D
(1 #)	重 か が よ と	0 0	00 000	00 000 0 00	C (HII)		重 か が が が	υυ	00 000		C*11	n *シ
主要設備	適用範囲	・原子炉再循環流量 制御装置・制御棒駆動水圧系 (Sクラス及びB クラスに属さない 部分)	· 武林 探放系 · 国化装置 1.9 下流 · 国化装置 1.9 下流 · 可国存器渠物取放 · 以聚值(序藏原含 · 合む) · 希国存系 · 新燃料印藏設備 · 予婚終中的藏設備	・ ・	・地下水位低下設備	**************************************		・原子や再循環流量制 循装置 ・制御棒撃動水圧系(S クラス及(28クラス に属さない。領分)	は対抗収水 国化装置より下消の 国体廃棄物取扱い 設備(計蔵再合合 ひ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 68歳未来 - 7 - 17 - 43歳 た 日	・地下水位低下設備	・ 競外非水路 (彼か世間 線水ビット (右間) 、右側線水路 (高端線 精腫部)、 土口 回線 水ビット (右側)、 蛟 大田原地水ビット (有 個)、南側地水岩 (坊 神場側が成り 交び出 口間線水ビット (南
	機能別分類	(1)原子炉の反応度を抑制するためのを抑制するための 施設でSクラス及 がBクラスに属さないBクラスに属さない施設		(田)放射線安全に関係しない補設等			機能別分類	(1)原子炉の反応度を 対制するための施設 で8クラス及び8ク ラスに属さない指数	(ii) 放射性物質を内膜 しているか、又はこれ に隔端して施設で S クラス及び B クラス に属さない 相談	(日) 放射機な金に関係した・劉政等		
	可減重要及 分 猶	C252					<u>耐震重要度</u> 分類	こクラス	•			

設置変更許可 今回工事計画認可

- (注1) 主要設備とは、当該機能に直接的に関連する設備をいう。
- (注2) 補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備の補助的役割を 持つ設備をいう。
- (注3) 直接支持構造物とは、主要設備、補助設備に直接取り付けられる支持 構造物又はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。
- (注4) 間接支持構造物とは、直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構造物(建物・構築物)をいう。
- (注5) 波及的影響を考慮すべき施設とは、下位の耐震クラスに属するものの 破損等によって上位の分類に属するものに波及的影響を及ぼすおそれ のある施設をいう。
- (注6) Ss:基準地震動Ssにより定まる地震力
 - Sd : 弾性設計用地震動Sdにより定まる地震力
 - S_B: Bクラス施設に適用される地震力
 - Sc: Cクラス施設に適用される静的地震力
- (注7) ほう酸水注入系は、安全機能の重要度を考慮して、Sクラスに準じて 取り扱う。
- (注8) 原子炉圧力容器内部構造物は、炉内にあることの重要度を考慮して、 Sクラスに準じて取り扱う。
- (注9) Bクラスではあるが、弾性設計用地震動Sdに対し破損しないことを 確認する。
- (注10) 主蒸気逃がし安全弁排気管については、基準地震動Ssに対して破損 しないことを確認することで、蒸気凝縮性能の信頼性を担保する。
- (注11) Cクラスではあるが、基準地震動Ssに対し機能維持することを確認する。

注記*1: 主要設備とは、当該機能に直接的に関連する設備をいう。

*2: 補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備の補助的役割を持つ設備をいう。

*3: 直接支持構造物とは、主要設備、補助設備に直接取り付けられる支持構造物又はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。

*4: 間接支持構造物とは、直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構造物(建物・構築物、土木構造物)⁽⁹⁾をいう。

*5: 波及的影響を考慮すべき施設とは、下位クラス施設のうち、その破損等によって上位クラス施設に波及的影響を及ぼすおそれのある施設をいう。

*6: Ss: 基準地震動Ssにより定まる地震力

Sd: 弾性設計用地震動Sdにより定まる地震力

S_B: B クラス施設に適用される地震力 S_C: C クラス施設に適用される静的地震力

*7. ほう酸水注入系は、安全機能の重要度を考慮して、Sクラスに準じて取り扱う。

*8: 原子炉圧力容器内部構造物は、炉内にあることの重要度を考慮して、Sクラスに準じて取り扱う。

*9: Bクラスではあるが、弾性設計用地震動Sdに対し破損しないことを確認する。

*10: 主蒸気逃がし安全弁排気管については、基準地震動Ssに対して破損しないことを確認することで、蒸気凝縮性能の信頼性を担保する。

*11: Cクラスではあるが、基準地震動Ssに対し機能維持することを確認する。